

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	3-2-2		事業名	障がい者雇用マッチング試行事業～「元気はっけん(派遣)」事業～
担当	保健福祉局保健福祉部障がい福祉課就労・相談支援担当係 藤崎 TEL211-2936			
全 体 計 画				
事業内容	働く能力が十分にありながら就労する場所がないため施設等を利用している人や、一般就労からの離職者、養護学校卒業生等を対象に、人材派遣会社を通じて企業等に派遣する事業を試行的に実施するものである。		＜年度別の事業内容＞	
			<ul style="list-style-type: none"> ・20年度 10月をめぐりに人材派遣会社を選定。派遣試行事業を開始 ・21～22年度 派遣試行事業を実施 	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	なし(20年度途中からの実施事業)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業費915千円(21年2月～) 人材派遣会社1社を指定し、障がいのある方を16名(身障5名、精神11名。うち近隣市居住者1名)登録し、①民間企業への派遣を目指して、②登録した障がいのある方の職業能力を高めるため5名(近隣市1名)に対し研修を実施、さらに1名に対して実習を行った。 	
事業内容・量・場	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費9,800千円 引き続き本事業について、障がい当事者や関係者・企業等に広く周知し、登録者に対する研修や実習のほか、企業等への派遣を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・事業費5,896千円 昨年度に引き続き、本事業について、障がい当事者や関係者・企業等に広く周知し、登録者に対する研修や実習のほか、企業等への派遣を実施した。 	
規模・件数等				

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	3-2-2			事業名	障がい者雇用マッチング試行事業～「元気はっけん(派遣)」事業～		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
本事業により企業などに派遣される障がい者数	-	-	-	1人/日	2人/日	5人/日	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 障がいのある方の受入先企業で働く他の従業員の理解と協力が広がるとともに深まることが期待できる。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力]本事業は民間企業(人材派遣会社)を選定し補助により実施するものであり、事業展開によっては選定された企業側の当該事業への資金協力が期待できる。 [人材協力]民間企業の優れた人材や技術を当該事業に生かしていくことが期待できる。 [情報協力]民間企業が持つホームページや情報誌などの媒体を活用した情報発信により、障がい者雇用に対する理解が期待できる。 [その他の協力]民間企業が持つネットワークや、施設(場)を活かした事業展開が期待できる。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 本事業の実施者として指定する人材派遣会社とともに、市民や企業が参加しやすい環境づくりのための方策を検討していく。</p>							
評価(成果)				課題			
<p>当初は20年10月からの事業実施を目指し、北海道労働局等との協議などを進めてきたが、調整等に時間を要したため21年2月開始となった。事業者選定にあたっては、多くの障がい当事者や民間企業から期待や関心が寄せられていたことから、より効果的な事業展開を目指して、各事業者から事業実施にあたっての企画提案を募り、ハローワークや障がい者就労支援関係機関も参加した選定委員会で選考した。 また、第1回目の研修と実習にあたっては、報道機関の協力も得てその取組を広く紹介し、本事業の周知に努めた。</p>				<p>札幌圏における障がい者の雇用状況は、全国平均(1.63%)をやや上回る1.70%となっているものの、法定雇用率(1.8%)を下回っている状況にある。また、法定雇用率を達成していない企業の割合は54.4%となっており、障がいのある方の就労を取り巻く状況は大変厳しいものとなっている。このような状況となっている背景には、昨今の経済情勢の悪化のほか、企業側の障がい者に対する理解の不足や雇用経験がないことによる敬遠も大きな要因になっていると考えられる。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>平成20年度から実施した当該事業の検証により、派遣による雇用実績を指標にするのではなく、雇用に結びつけるまでの研修や雇用後の職場定着等の重要性が明らかとなったことから、次年度以降については、民間企業のコンサルタント能力等を効果的に活用した事業への見直しを行うことが必要と判断する。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		3-2-2			事業名	障がい者雇用マッチング試行事業～「元気はっけん(派遣)」事業～					
事業費の推移											
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計	
計画	事業費	0		11,650		11,650		11,700		35,000	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他	0		0		0		0		0
		一般財源	0		11,650		11,650		11,700		35,000
予算	事業費	0		5,000		9,800		6,500		21,300	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他	0		0		0		0		0
		一般財源	0		5,000		9,800		6,500		21,300
実績	事業費	0		915		5,541		5,896		12,352	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他	0		0		0		0		0
		一般財源	0		915		5,541		5,896		12,352
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)								35.3%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
《全体》 20年度当初から実施する予定であったが、関係機関との調整等の関係から21年2月からの事業開始となった。											
[19年度]											
[20年度] 20年度当初から実施する予定であったが21年2月から実施。派遣実績なし。											
[21年度] 派遣から雇用に結びついた数は、1名(知的障がい者)											
[22年度] 派遣から雇用に結びついた数は、1名(身体障がい者) 障がい者に対する企業理解の不足、障がい特性に合わせた職場開拓が円滑に進まなかったため。											